３）地球規模課題対応国際科学技術協力事業　防災分野

３）－１　インドネシアにおける地震火山の総合防災策

（研究期間 H20～23）

［担 当 者］　藤井雄士郎＜研究協力者＞

本課題（研究代表者 : 佐竹健治／東京大学地震研究所教授）では、インドネシアにおいて、(1)地震・津波の発生機構の解明と予測、(2)火山噴火予測と活動評価手法、(3)災害に強い社会基盤の構築（建物耐震化・液状化対策などのハード的対策）、(4)災害対応と復興時の社会の脆弱性の克服（情報伝達手法などのソフト的対策）に関する研究を行う。さらに、これらを社会に還元するため、(5)防災教育推進と意識向上、(6)研究成果を生かすための行政との連携を実施し、政府・自治体・研究者等を含む防災コミュニティを創設して、総合的な地震火山防災力の向上を図る。担当者は、研究協力者として、課題(1)のサブテーマ : 津波予測シミュレーションと被害予測に参画している。

平成 23 年度は、 8 月の北海道大学での研究打合せに参加し、研究進捗状況や今後の研究・現地調査計画について協議した。また、2010 年 10 月に発生したメンタワイ諸島地震について、インドネシア側から海底地形データの提供を受け、津波波源モデルの再検討を行った。津波被害調査による測定津波高の同モデルによる再現性についてまとめた論文を国際誌 PAGEOPH の特集号に投稿した。